

「希望」だより

〒284-0005

四街道市四街道 1-6-11 田中ビル 3F

TEL & FAX 043-421-6645

E-mail: kibou_donguri@ninus.ocn.ne.jp

HP: <http://kibou-donguri.org>

2020 東京パラリンピックを観て

コロナ禍で大変な状況の中、何とか東京パラリンピックは終了いたしました。

開催に関しては、賛否両論ありましたが、私の個人的な意見としては、開催してよかったと思います。関係者各位の並々ならぬご尽力に心より敬意を表します。

「心身にハンディーを持った方」が、自分のハンディーに向き合い、それを克服するために並々ならぬ努力をし、それを支える人たちも選手を親身になって日夜支援し、それぞれの競技に全力を尽くしている姿を見て、オリンピックと同じくらいか、それ以上に感動いたしました。

クーベルタン男爵が、「人生で最も大切なことは、勝つことではなく努力すること」と言われた通りだと実感した次第です。我々の団体も「心にハンディーを持った方々」の社会参加促進のために活動していますが、パラリンピックの感動を忘れず、毎日地道に努力していきたいという気持ちを新たにいたしましたところでは。

なお、私はかつて先輩から、ヨーロッパでは「障がい者（障害者）」という言葉は使わず、「ハンディーを持った人」と表現しているということを聞いて、敢えてこの言葉を使用しましたし、この奥にある「多様性を認め、尊重する」「与えられた条件の中で最善を尽くす」という考え方を忘れずに、今後の「希望」の運営に携わってまいります。

会員の皆様には、我々の団体が「心にハンディーを持った人」の集まる場所として、より良いところになるよう、引き続きご支援をお願いいたします。

特定非営利活動法人希望 理事長 中山潤一

第9回 福祉を考える集い

コロナ禍における地域福祉のあり方（仮題）

立場の弱い人たちが暮らしやすくするためにはどうしたらよいか」という観点から「地域福祉」の重要性について学習するという趣旨の講演会です。

日 時 11月12日（金）14時～16時半
（受付 13時半～）

場 所 四街道市文化センター（301・302号）

講 師 日本社会事業大学准教授
菱沼幹男先生

主 催 Tea for two 共催 希望

参加ご希望の方は、事前申し込み
080-1074-3126（伊佐）

「わたぼうし音楽祭」で大賞受賞

8月1日に開催された、奈良県の福祉団体「たんぽぽの家」主催の「わたぼうし音楽祭」で、希望前理事の伊佐会員が作詞した「自由」という作品がみごと大賞を受賞しました。

この音楽祭は、障害のある人から夢や希望をテーマにした詩を募集し、入選作に作詞者本人や別の方が曲をつけ発表する音楽会で、1976年から45年に亘り毎年行われている歴史ある音楽祭です。YouTubeで動画配信もされています。

『わたぼうし音楽祭』検索 🔍

[第46回わたぼうし音楽祭 -](#)

地域活動支援センターどんぐり工房

七夕飾り

七夕飾りを行いました。

短冊作りから始まり、提灯、輪飾り作り等々、短冊に思い思いの願い事を記入しました。

願い事…叶うといいなあ…

ちらし寿司 おいしくいただきました。



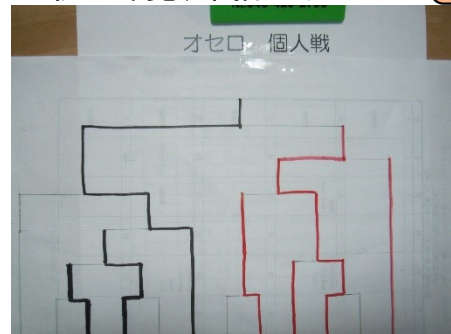
ブルーベリー & 栗収穫

ブルーベリー収穫は蒸し暑い中、一生懸命一粒一粒手摘みしました。

途中、大雨で濡れる事もありましたが、頑張りました。

今年は約15kgの収穫でした。

秋の味覚、栗拾いもしました🍡



○●オセロ個人戦

オセロ個人戦に、エントリーされた利用者さん、ボランティアさん、職員含め12名でトーナメント表を作成して行いました。

あっという間に終わったり、とても悩みながら最長45分かかったり、ギャラリーの声援がある中で、皆さん真剣に対戦しました。

結果は以下の通りです。

1位 🏆 J・N さん

2位 🥈 K・A さん

3位 🥉 N・Nさん M・Aさん

次回は、団体戦を予定しています。

ことの条のこーな一

辛いことが過ぎれば

君に会いたくなる

普段はふさぎこみになるけれど

君と一緒にいると

俺はお喋り屋になる

いつが一番いいって？

君といるときが一番いい

馬鹿 男の俺に

そんなこと

言わせるもんじゃねえ

雨がやんだ後の

虹を見るようさ

君といると (丁)

満開の日は もう来ない 古老木

(おーくま)

一人だけ いいねをくれる 友がいる

(おーくま)

うらみます おもてみずに ウラみます

(おーくま)

満開に ならぬ古木の 花一つ

(おーくま)

地元の人 九七回

(地元の人 A アナウンス B)

B「私が見たものは現実です、寝ているときに夢を見ていたのではない、避けようがない現実でした、ただぼんやりした形の明瞭ではない幻覚であつたかも知れない、夢を見るように曖昧な…横になっていました、少しは楽に感じられた、だが…借間とはいえ私が借りている部屋の中で私は逃げ出すことさえできないのです、じつと耐えていました、幻想は去りません、私と同じくらいの背格好をした、たぶん男の様でした、輪郭ははっきりしません、幻想は滲んでいるようです、いつまでも男は去つてはくれないのです、私の影はまるで魂のようにずっと男に吸い込まれるように消えた、錯覚だつたでしょうか、いえ、私は男の姿におびえたのです、なんのためだつたのか理由もわからず…今まで知ることが無かつた強迫観念、言葉にすればいいとたやすく説明できる、だが私の知つたものはあまりにも肉感的であり理論で説明できかねるものだつたのです、夢であればよかった、無駄に時間ばかりが過ぎていきました、私が体験したもの…ですが幻想は形を変えながら延々と続き休む暇など私にはありません、仕事にも当然支障がでる、人と齟齬するばかりで私の居場所をはみるみるうちになくなっていきました、幻

想は幻想ではすまなくなつた、病気であるにしろ誰にも説明はできません、だいたい病気とは知らなかつたのです、私には思想も理論も消えていた、ただはっきりした輪郭のない恐怖の相貌と対面していただけでした、どこまでも追つてくる、何故か、それは私の体内にあつたからです、今でならそう言いかけることは出来そうであるけれどそうそう口にしたくはない、完治した、そうは言えないからです、いまだに引きずっているのです、なんのために…理由さえ分かりません、いつまでたつてもとり憑いて離れてくれるわけではない、会社は一〇年で辞めた、今はアナウンスとしてあなたの話し相手をしている、飯を喰えるだけでも良い、そればかりか休む場所も眠る場所さへもある、退職するときには莫大な退職金が…いえ、そこその金額は支給されるようでそれならばと考えているのです、まあ、あと何か月もすれば…地所も拝見しました、畑も出来そうですし田んぼもある、余生の二〇年や三〇年、へへ、ようやく私にも春がやって来るのです、酷く苦しい場面しかなかった私の人生に…夢のようですな、あなたには分からないかもしれないが人生ようやく明るみに出るのです、今まで余生など想像もできませんでしたが、広大な敷地に家を建てるのです」

(丁)

寄り添う

9月中旬、一人約60億円かけて地球上空を3日間集会するという宇宙船が4人の民間人を載せて打ち上げられたとの報道があった。正直このニュースを見た時冗談かと思った。

コロナウイルスの影響で世界中が緊張と自粛をしている中で、何を考えているのか分からない。信じられないほど浅かな目立ちたがり屋なのだろう。世界のリーダーを目指そうとする国家がこんなことを認めてはいけない。

「コロナの影響で経済が大打撃を受け、個人の生活まで脅かされているこの時期に宇宙旅行とは何事だ。」こんな言葉がどこからとも聞こえてこないのが不思議だ。

人類が宇宙開発に費やしている費用の1%でアフリカ大陸の飢餓が救えると言われている。世界で最も優秀な頭脳が集まった学者集団、深い見識で

行政を支持している政治家たち。貴方たちに聞きたい。

「何を求めているんだ」「そんなことで名を残して何になる」

ニーチェの言葉が思い出されている。曰く『地球は皮膚を持っている。そして、その皮膚は様々な病気を持っている。その病気の一つが人間である』と。

地球とそこに暮らす全ての命に真剣に寄り添おうとするのなら、このコロナ騒動の最中に宇宙旅行など考えている暇はないだろう。

しかもご丁寧なことに、この旅行は小児がんの病院に対する支援が目的だとも言っている。支援が目的なら直接支援すればよい。宇宙旅行で高い空から地球を眺めることなど必要ない。己自身の存在を誇示したいが、併せて人間味も少しアピールしておこう。姑息で性悪な自己宣伝に思えて仕方ない。

ニーチェが言う地球の病気とはこんなことなのかもしれない。

同じ数十億の金を使うなら、国際的には20年以上に亘り、ベ

トナムの孤児たちの支援を続け100人以上を養子にして面倒を見ていると同時に、中国残留孤児の支援などを行い、国内では10代のころに始めたという刑務所の慰問や、自然災害の被災地に自ら出向き炊き出しのボランティア活動を行うなど多岐にわたる福祉活動を、私財を投じて行っている日本の俳優を見習ったらどうだろう。

「偽善」だ、「売名」だとの苦しい紛れの避難に対し彼はこう答えている。「偽善・売名そう考えるならそれで結構。あなたも同じことをしてください。」更にも言っている。「福祉は見返りを求めたら意味がないんです。」

経済的なことで、あるいは障害や病気で苦しんでいる人たちの悩みや悲しみを少しでも和らげられないか。その人達が希望を無くさないようにするにはどうするか。

『貴方の苦しみを共有したい、私は貴方の傍にいます。何もしてあげられないかもしれないが

私宇は逃げない。一緒に頑張ろう』そんな風に言えるようになりたい。

長く携わっていきながら何の成果も出せていない微力な私だが、福祉活動には何よりもその人の持つ苦しみに寄り添う心が必要だと、それだけはいつも肝に銘じている。

希望会員 小林征司



会員・賛助会員募集

障害（ハンディー）を持った方々が、地域でより暮らしやすい生活が送れるよう、「希望」の活動にご賛同いただける方を募集しております。

連絡先

特定非営利活動法人希望

どんぐり工房内

043-421-6645